

ロボコンジャパンカップ 2025 決勝大会

ルール

1. ロボットについて

本体サイズ	タテ 39.4cm x ヨコ 39.4cm x 高さ 40.0cm 以内 (<u>バケット部を含む最長の長さをこの範囲内とする。</u>) (<u>バケット可動時も同様この範囲内とする。</u>)
足回り	キャタピラ仕様のみ。(キット付属車輪のみ使用すること)
モーター	〔FA-130〕のみ使用可能とする。(キット付属のモーターのみ) 改造されたモーターの使用は認めない。搭載する数に制限は無し。
電池	使用できるのは <u>単二もしくは単三電池 2 本に限る。</u> 改造などして上記電池以外の電池を使用する事は認めない。
バケット	<u>ワンピースギアボックス（付属品）による駆動を条件とし、</u>

※ 車検は、バケット部及び付随するパーツを最長に伸ばした状態で行います。

※ 9/7（日）決勝コース発表会后、「決勝大会総当たり戦グループ分け」及び「決勝コーススレイアウト」「決勝大会出走表」「決勝プログラム」を通知致します！

2. ルールについて

- ・ 予選大会を突破された **36 名** が 8 グループに別れ（A～H のグループ枠）総当たりリーグ戦にでれます。（8 グループ枠：A～H に各 4 or 5 名で 1 グループとなる。）
- ・ 総当たりリーグ戦にて対戦していただき、各グループ上位 2 名（総当たり戦の集計）計 **16 名** が決勝トーナメントにでれます。
- ・ 決勝トーナメントは、1 対 1 の対戦方式となり、1 位から 3 位までの各入賞者をきめ、勝敗を競います。
- ・ 2 種類の玉（20 個）を相手フィールドに送り入れる対戦形式となります。
 - ※ガチャ空玉 10 個、ガチャ玉スーパーボール入り 10 個
 - ※玉の得点は 2 種類共に 1 個 1 点
- ・ 最初のスタートは、アルミフレーム枠の外側に設置している、白い坂の赤いスタートラインより「2 つの半円でできた橋」を渡り切り、アルミフレームの中に入ってから、競技をすることができます。（※コーススレイアウト参照）

※スタート時に、橋を渡り切れない場合は、初めの白い坂赤線よりスタートしなければなりません。

- ・コース枠内に入り、それぞれの玉を拾い上げ、コース内にある白い坂を上り、スロープを使って相手フィールドへ玉を送り込むことで得点となります。

☆白坂スロープからのみ、相手フィールドへ送ることができ、壁を越えて入れることは禁止とします。

★スロープに上がってブロックすることや、そこから玉を入れることも禁止とします。

・ピンポン玉トレイはロボットの本体またはバケットで倒してください。コントローラーのコードなどで倒してしまった場合は強制リトライとなり、審判によりピンポン玉トレイを再セッティングします。その後リトライスタートとなります。(時間は進んだまま)

- ・玉の得点は1個1点とし、自陣球の合計点数が低い方を勝ちとします。
- ・1試合 **3分**。玉 40 個使用 (自陣 20 個 + 敵陣 20 個)
- ・境界線上の玉は自陣の玉、スロープ上にある玉は、敵陣の玉としてカウントします。
- ・相手陣地に乗り込んでリトライした場合はペナルティで、10 秒間再スタートできません。

< 引き分けの場合 >

・総当たりリーグ戦にて勝敗が同点であった場合には玉の合計点数により勝敗を決定し、総当たりリーグの勝敗が同点かつ合計点数も同点であった場合、及び決勝トーナメントで引き分ける場合は、直接対決にて2分間の再試合を行い、勝者を決めます。(勝敗が決まるまで繰り返す)

3. リトライについて

1. リトライの条件

- ・ロボットが故障した場合
 - ・競技者がリトライを宣言し、審判が認めた場合
 - ・その他、審判がリトライと判断した場合
- 例) ロボットが横転したり、キャタピラが外れたりして走行不能になった場合。

2. リトライのやり方

- ・選手が手を上げ「**リトライ**」と宣言する。

↓

審判がリトライを認める。

↓

修理

↓

バケット先端をリトライラインにあわせる



審判の「スタート」のコールで再スタートする。

3. 再スタートの位置・・・※コースレイアウト参照

- ・アルミフレーム枠の中に入り、競技中に「リトライ」をする場合は、フレーム枠な内側部分にある「赤線内側のリスタート」の位置より再スタートとなります。

4. メンテナンス（修理）について

- ・競技中の修理はコース脇で行って下さい。(キャタピラ外れを直す場合も、コース上ではなく、コースの脇で行ってください。)
- ・修理中も競技時間は経過します。(修理後は再スタートとなります。)
- ・修理不可能の場合は「キケン」となります。
- ・競技中の修理を素早く行う為にも、事前にコース脇（じゃまにならない場所）に工具を用意して下さい。(保護者の方が近くで管理していても構いません。)
- ・審判やロボコンスタッフ(黒いポロシャツを着た者)が貸し出しすることはありません。(最初に貸し出している工具を持ち込むことはOKです。)
- ・メンテナンス（修理）は、選手と保護者1名ができます。それ以外の方がロボットに触れることは禁止とします。

※何人もの方がロボットに触れた場合は失格となりますのでご注意ください。

5. 禁止及び失格行為

●禁止行為

- ・競技中、リトライ時以外に無断でロボットに触れること。
- ・コース上へ選手が故意に進入すること、コース上にある備品等を故意に破壊すること。
- ・競技中に選手以外の方がロボットやリモコンを持ったり、操作すること。

※リトライ宣言後のメンテナンスを行う場合に限り、保護者1名が手伝うことはOK。

・滑り止めを目的とした粉末やクリーム等をロボットの本体やタイヤベルト、バケットに塗布すること。

※コースを汚したり、次走者の競技に妨げになる行為となった場合は即刻失格とします。

●失格行為

- ・「1.ロボットについて」の規定以外の改造を行った場合
- ・リモコンでロボットを引っ張ったり、試合中にわざと横転させたり、悪ふざけをした場合
- ・禁止行為を繰り返し、度重なる警告があった場合

6. その他

- ・ 大会本番までに、コース・ルールを若干変更する場合もございます。

変更があった場合は、ＨＰ及びＦＢページに掲載致します。ご了承下さい。

ＨＰ： <http://www.robocon-japan.com/>

- ・ 競技中はコースや備品に触れる機会があると思いますが、誤って破壊しないように注意して下さい。
- ・ 大会中はみんなが楽しむためにルールを守りましょう！